

令和7年度

# 教科等研究会 活動報告集



- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ①国語教育研究会    | ⑪ 特別活動研究会        |
| ②社会科教育研究会   | ⑫ 哲学研究会【休会】      |
| ③算数・数学教育研究会 | ⑬ 文化財研究会         |
| ④理科教育研究会    | ⑭ 書写書道研究会【休会】    |
| ⑤音楽教育研究会    | ⑮ 学校園研究会         |
| ⑥図工・美術教育研究会 | ⑯ 保健教育研究会        |
| ⑦体育教育研究会    | ⑰ カウンセリング研究会【休会】 |
| ⑧技術・家庭教育研究会 | ⑱ 情報教育研究会        |
| ⑨英語教育研究会    | ⑲ 総合・生活科教育研究会    |
| ⑩道徳教育研究会    | ⑳ 発達障がい支援教育研究会   |

公益社団法人東筑摩塩尻教育会

# 令和7年度 国語教育研究会活動反省

令和8年1月16日

## 1 本年度の活動について（内容など）

### ① 第1回 自主研修

期日：7月30日（水）

会場：広陵中学校

内容：文学研究科 堀井正子先生による講演会 テーマ：『松尾芭蕉の紀行』

### ② 夏期研修会の開催・参加

期日：8月1日（木）

会場：岡谷市立岡谷東部中学校（諏訪支部）

内容：レポート協議及び講演会

講師：佐藤 多佳子 先生（上越教育大学教職大学院 教授）

### ③ 長野県国語研究協議会への参加

期日：10月31日（金）

会場：松本市立波田小学校、松本市立梓川中学校、波田公民館

内容：研究授業、授業研究会、分科会、講演会

講師：文教大学教授 藤森 裕治 先生

信州大学准教授 八木 雄一郎 先生

上越教育大学教職大学院教授 佐藤 多佳子 先生

### ④ 学会誌「信州国語教育」96号 会報86号の発行

## 2 来年度に向けて（本年度の成果と課題）

### （1）成 果

- ・自主研修では文学研究家の堀井正子さんを講師にお招きし、「松尾芭蕉の紀行」をテーマに講演会を行った。芭蕉の生涯や、彼を敬愛した与謝蕪村との関わりなどを通して、さまざまな視点から芭蕉文学の魅力を深く学ぶ機会となった。参加者からは「授業づくりのヒントを得られた」との感想も寄せられた。
- ・例年松本支部と共催で行っている授業研究会は、今年度松本で開催された国語教育学会県大会を兼ねて実施した。松本市立波田小学校と梓川中学校を会場に授業公開と研究協議を行い、信州大学の八木雄一郎先生、文教大学の藤森裕治先生、上越教育大学の佐藤多佳子先生を講師にお招きした。「子どもが主人公の国語教室づくり」を主題とした実践的な研究が展開され、続く八木先生の講演「『探究』の時代の国語科授業づくり」では、探究的な学びの多様な在り方について理解を深める貴重な機会となった。

### （2）課 題

- ・自主研修で行う内容については、今年度の内容も踏まえつつ、実技講習等の実践的な研修の場となるよう、多くの先生方が気軽に参加できるような内容を考えていきたい。
- ・昨年度に引き続き、「支部会員全員が県の会員」ということで進めた。来年度も是非多くの会員に県の会員になってもらえるようにして、研修の場を広げたい。
- ・小学校の先生方の会員が大変少ない。会員を増やす方策を検討する必要がある。
- ・教育会からいただいている補助金を有効に使って、会員に還元できるようにしたい。

# 令和7年度 社会科教育研究会活動反省

令和8年2月  
事務局 中野 直輝 (塩尻西部中学校)

## 1 本年度の活動について

### (1) 「自主研修の日」実施内容

- 7月28日(月) 塩筑教育会「自主研修の日」
  - 〔会場〕 西福寺
  - 〔内容〕 香道体験(源氏香) ・ 授業づくり

### (2) その他研修

- 1月17日(土) 講演会
  - 〔講師〕 朝日村教育長 百瀬 司郎 先生  
映画監督 是枝 裕和 さん
  - 〔演題〕  
『もうひとつの教育～伊那小学校春組の記録～』を窓口「子ども主体の学び」の原点を見つめ直す

### (3) 研究活動

令和7年度研究テーマ(信州社研・塩筑支部)

『ひと・もの・こと』と関わりながら、豊かな見方・考え方が育つ社会科学習のあり方  
～自ら問いをもち、自らの答えを出す児童生徒の育成を目指して～

〔信州社研中信ブロック 塩筑・木曾大会〕11月14日(金)

- 塩尻市立広陵中学校 百瀬 濤 教諭 (中学3年)  
単元名 「未来の塩尻市を支えるのは、誰だ!?!～私たちと塩尻市の未来～」
- 塩尻市立洗馬小学校 荒井 千尋 教諭 (小学5年)  
単元名 「これからの工業生産と私たち」

## 2 来年度へ向けて

### (1) 成果

- 本年度は信州社研の全県大会が塩尻市で開催された。「自ら問いをもち、自らの答えを出す」ための学びを追究するために研究を重ねた。大会のための研究ではなく、日々の授業にもつながる授業をめざした。小学校の実践では、児童が実際に工場を見学したり、塩尻市で工業に関わる方に話を聞いたりし、工業を身近に感じ、その課題を自分たちなりに解決する方法を考える姿があった。中学校の実践では、塩尻市の財政について、その使い方を考えることで住みやすい街をそれぞれが考えていく姿があった。子どもの身近にある「素材」を教師が深く研究したり、「話題」をどのような切り口で扱ったりすることが、子どもが主体的に考えるきっかけにつながった。
- 大会があるということもあり、対面での研究会を多く実施した。オンラインによる参加も可能なハイブリッド型で行い、昨年度より多くの会員に参加いただくことができた。対面だからこそ深まる意見もあり、今後もハイブリッド型で行い、授業力や子どもをみる力を一緒に高めていきたい。

### (2) 課題

- 全県大会が終わったと安堵せず、今後も研究授業ありきではなく、日々の授業に少しでも生かせる視点があるような研究を進めていきたい。
- 塩筑の地区だけでなく、木曾や松本、安曇野、大北地区との協力体制を深め、会員が自分のニーズに合った研究や自己研鑽が行えるようにしていきたい。

# 令和7年度 算数・数学教育研究会 活動報告

事務局 塩尻市立丘中学校 宮川 幸浩

## 1 本年度の活動

### (1) 研究テーマ

「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」

数学的活動を充実させることで学びを深める／数学的な見方・考え方を働かせることで学びを深める

### (2) 各種の事業

#### ① 教育研究会総会 5月下旬 会員26名で発足

添付の規約・年間活動計画・会員名簿の配信をもって総会とした。

#### ② 授業研究会、研修会等

##### ア 中信ブロック大会（安曇野） 10月24日（金）

会場：安曇野市立豊科南中学校

##### イ 第73回長野県算数数学教育研究大会（長野大会）11月4日（火）

会場：上田市立川西小学校・東塩田小学校・第二中学校・依田窪南部中学校

##### ウ 松塩筑合同研修会（夏季） 7月27日（金） 塩筑開催

会場：塩尻市立丘中学校 参加者35名

※「自主研修の日」に松本支会の先生方をお呼びして合同開催

##### エ 松塩筑まどめの会（冬季） 2月21日（土） 松本開催

会場：松本市立寿小学校

#### ③塩筑共通テストの作成

- |           |        |     |           |             |
|-----------|--------|-----|-----------|-------------|
| ・第2回総合テスト | 担当校：丘中 | 検討会 | 7月25日（金）  | 18:00～20:00 |
| ・第3回総合テスト | 塩尻中    |     | 9月16日（火）  | 〃           |
| ・第4回総合テスト | 広陵中    |     | 10月28日（火） | 〃           |

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・各種研究大会は、実践から学ぶことができている。また、講演会での大学教授の話は、指導要領の理解を深めたり、最先端の研究に触れたりできる貴重な学びの場となっている。
- ・共通テストの作成は、担当校は大変だが、全体としては働き方改革につながっている。特に単級の学校からの感謝の声が大きい。共通テストにすることで、各校での作問レベルにばらつきがなくなることも成果といえる。

### (2) 課題

- ・同好会員が減少傾向にある。中学校数学科はもとより、小学校の先生方にも、気軽に入っていただきたい。会員に負担をかけることなく、「同好会に入って良かった」と感じられるような取り組みをしたい。中学校では共通テスト作成を引き続き行う。
- ・夏季研修会や県大会でのレポート発表を、どなたにお願いするか毎年迷う。
- ・県の研修会（夏 信大松本キャンパス・冬 信大長野キャンパス）への参加者が少ない。お一人でも参加者が増えるよう、働きかけていきたい。交通費の補助は継続していく。

## 1 本年度の主な活動内容

### (1) 本部・事務局関係

#### ○ 総会

会議資料の送付およびオンラインでの参集で総会を行った。そこで令和6年度の事業報告、会計報告および令和7年度の事業計画、予算案が承認された。また、本年度の役員および各委員会の委員を選出し承認された。

### (2) 信州理研塩筑木曾大会

本年度、信州理研塩筑木曾大会が、広丘小学校と丘中学校を会場に11月に開催された。塩筑理研では、昨年度からの研究・実践を継続して積み重ね、大会当日は、小学校では第6学年「水溶液の性質」、中学校では第3学年「化学変化と電池」の単元で、授業公開等を行った。

<研究テーマについて>

研究の視点(テーマ)としては、支部では昨年度から次のように定めて取り組んだ。

自然事象と主体的なかかわりの中で、友と科学的に深め合う理科学習

～探究心が湧き立つ素材の教材化と友との協働が生まれる

学習過程・授業構想の究明を通して～

<本時の授業について>

小学校では、無色透明の水溶液(5種類)を見分けるために、既習事項をいかして自ら考えた実験を行い追究する場面。班ごとに必要と考えた実験を行い、その結果を分析・検討して根拠を明確にして水溶液を特定していった。

中学校では、ダニエル電池の仕組みを使って強い電池を作るにはどうすればよいか考える場面。電解質水溶液の濃度、金属板の種類や大きさに注目し、モーターカーがより走る条件を見つけることを通して追究し、強い電池を作るにはどうするか見出していった。

小中どちらの授業も、意欲的に追究する児童生徒の姿を通して、参加の皆様に塩筑支部の取り組みをお示しすることができたのではないかと思います。

### (3) 実験講習委員会

松本理研と共催で次の2講習会を計画した。

#### ① 夏の理科実験研修会(松本理研と共催)

会場 女鳥羽中学校 講師 佐巻 健男 先生(元法政大学教授)

内容 著書「世界史は化学でできている」「おもしろ理科授業の極意」

に載っている実験等をおこなった。

#### ② 冬の理科実験講習会(松本理研と共催)

会場 塩尻市立広陵中学校 講師 辻本 昭彦 先生(法政大学准教授)

内容 2月開催のため未定

講習会では、授業に役立つ数多くの実験方法や教材教具を学び、有意義なものになった。また、講習会后に情報交換会をおこない、教材研究のノウハウを紹介したり、親睦を深めたりする機会となった。

### (4) 研修委員会(自主研修運営)

7月30日(水) 東筑摩塩尻教育会自主研修

会場 丘中学校

内容 「イオンと電池」に関わる教材研究・教材作り

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

①理研全県大会へ向けての研究や実験講習会等、貴重な自己研鑽の機会にもなった。

### (2) 課題

①会員数は減少傾向が続いていたが、本年度は信州理研全県大会ということもあり会員数は増えた。今後さらに多くの方に会に賛同・加入いただけるよう呼びかけていきたい。

②会員の先生方の声を聞きながら、より魅力的で実践に役立つ研修・講習を積極的に計画していきたい。



## 令和7年度 音楽教育研究会活動報告

### 1 本年度の活動について 《研究会員数23名》

#### (1) 本年度の取り組み

○研究会発足会 5月26日(月)に行いました。

○教育会総集会での開会音楽 8月20日(水)混声合唱「信濃の国」

指揮 細山 和寿校長先生(洗馬小学校) 伴奏 波場 智美先生(広丘小学校)

○自主研修の日

7月30日(水) 出席者 26名

場所 : 広丘小学校

講師 : 菊岡まつ乃三味線スクールより

内容 : 「三味線に親しもう」 ~三味線の歴史を知り、実際に体験してみる~



○まとめの会

2月に予定しています。

#### (2) 取り組みの成果

- ・今年度総集会の日程が8月になったことに伴い、例年のような合唱発表は行わず、教育会員全員での開会音楽「信濃の国」を歌うスタイルに変更した。また、例年総集会の日に行っている発足会は、5月26日にC4th上で行った。
- ・自主研修の日は、昨年度大変好評だった「三味線」の講習を第2弾として行った。昨年度も受講して下さった先生方と、今年初めての先生方が半数ずつだったが、講師の先生が工夫して講習して下さったので、どちらの先生方にとっても大変有意義な研修となった。また、この二年間細棹三味線の研修を行ったが、来年は津軽三味線(太棹)に挑戦してみたいとの声上がるほど今年も三味線講習会は好評だった。

### 2 来年度に向けて

○来年度も総集会は今年スタイルで行いたい。

○自主研修の日は、会員の先生方の要望を取り入れた研修を行えるよう計画していきたい。

## 「図工・美術教育研究会」活動報告

### 1. 本年度の活動

#### ①研究会発足

#### ②7月30日 自主研修の日

- ・二本立てで美術館巡りを行い、第一部は日本浮世絵博物館にて、学芸員の方より展示作品の説明をしていただいた。第二部は、会場を松本市美術館へ移し、北欧美術の企画展の見学を行った。

#### ③10月17日 長野県児童生徒美術展・今を生きる子どもの絵展審査会

- ・吉田小学校体育館にて、作品の鑑賞と審査会を行った。教科書題材を取り入れた新しい絵画表現の魅力や、成長段階に応じた指導法、ICT機器の活用例などについて共有できた。

#### ④11月7日 東筑摩塩尻児童生徒美術展（巡回展）

- ・東筑摩塩尻教育会館にて、作品の鑑賞と審査会を行った。小中の発達段階に応じた表現の仕方や、指導の工夫を学ぶことができた。自由に自己を発信する表現の大切さについて情報交換ができた。

#### ⑤11月14日 第79回長野県美術教育大会（東信ブロック大会）への参加

- ・鑑賞題材の授業で、対話の重要性を再認識できた。

#### ⑥11月下旬 教育会誌へのイラストカット依頼・協力

#### ⑦研究会まとめの会

### 2. 来年度に向けて成果と課題

成果：今年度は美術館巡りを行った。第一部では、日本浮世絵博物館にて学芸員に説明をいただきながら収蔵されている浮世絵の鑑賞を行った。教科書改訂後も浮世絵が掲載されているため、間近で本物を感じたり、制作工程を丁寧に学んだりできたことは、今後の指導に生かせるよい機会となった。第二部は、松本市美術館の企画展〈ロイヤルコペンハーゲンと北欧デザインの煌き〉を鑑賞した。日頃の忙しさを忘れられる、大変有意義な時間を過ごすことができた。好評だったため、教材研究と美術館巡りを年毎に交互に行うとよいかと思う。

課題：挿絵のアナウンスが遅くなり、集めるのに苦労した。多忙の中、挿絵を提供してくださる方が減っているので、今後どのようにしていくのか、検討の余地があると思う。場合によっては、児童・生徒作品を挿絵として掲載するのもよいかと思う。

### 3. その他

今年度の研修会や審査会等、協力していただいた先生方のご尽力に、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご意見やご要望を受け、教育課題に向き合う実りある研究の場を共に築いていきたいと考えております。今後とも、よろしく願いいたします。

# 令和7年度 体育研究会活動反省

## 1 本年度の活動について

会員数38名。研究部・研修部・事務局を組織し、会員はいずれかの部に所属して活動した。

### ー 各種研修会・研究会の開催と参加 ー

#### (1) 自主研修

「誰でも気軽に楽しむことができるニュースポーツ」実技研修

期 日 7月30日(水) PM

会 場 ユメックスアリーナ(塩尻市)

25名参加

講 師 長野県体育センター専門主事

#### (2) 定例学習会

第1回「今年度の研究について・年間計画立案」 9月 9日(火)

第2回「今年度の体育指導計画・体育指導の在り方について」 10月 7日(火)

第3回「研究授業に向けて・授業づくり①」 10月29日(火)

第4回「研究授業に向けて・授業づくり②」 11月25日(火)

第5回「研究授業に向けて・授業づくり③」 12月 9日(火)

第6回「まとめ・今年度の実践授業の情報交換」 1月14日(水)

#### (3) 体育科公開授業・講演会

12月19日(金)

会 場 塩尻市立丘中学校

単元名「～極上の技への路・壱～」(器械運動・跳び箱運動：中学2年生)

授業者 手塚 樹 講師

講 師 岩田 靖 教授(信州大学教育学部)

#### (4) 公開授業参観・各種研究大会参加

①長野県学校体育研究会夏季 研修会場：千曲市総合教育センターおよび千曲市立植生中学校 7月31日(木)

②長野県学校体育研究大会更埴大会 会場：千曲市立植生小・千曲市立屋代中 10月31日(金)

#### (5) まとめの会

2月20日(金)

## 2 来年度に向けて

### (1) 成 果

- ・本年度は公開授業を軸に、会員同士が教材や場づくりの工夫を出し合い、高め合える充実した研修となりました。特に器械運動において、指導案作成から実践までを一貫して共有できたことは、実際の児童生徒の姿から指導の在り方を学ぶ貴重な機会となりました。
- ・公開授業に向け、指導案の検討から実践までを会員が一体となって進めたことで、生徒の具体的な変容を通じた実効性の高い学び合いが実現した。
- ・「認知的学習」に基づいた授業改善の深化、岩田教授の助言を軸に、生徒が「目指す動き・現状・解決策」を自覚的に結びつける指導や、ICT活用・スモールステップの提示による「技の可視化」の有効性が確認された。
- ・対話を重視した研究協議の定着、少人数のグループ討議や付箋の活用により、会員それぞれの実践知や教材の工夫が活発に共有され、互いに高め合える充実した研修の場が構築された。

### (2) 課 題

- ・研究メンバーの固定化と層の拡大、参加メンバーが固定化している現状を打破し、体育を専門としない教員も加わりやすい「研究の輪」をいかに広げるか(声かけの工夫や募集方法の再考)。
- ・「思考を深める介入」と「見通し」の支援、生徒の主体性を尊重しつつ、思考をさらに深める問いかけの質や、自律的に場を選択させるための教師による適切なサポート(スモールステップの提示)の具体化。
- ・対話の質と「関わり」の活性化 個人種目である器械運動において、ICT等で課題を可視化した後、それを生徒同士のアドバイスや学び合いにどう繋げていくかという「関わり」の構成。
- ・運営の継続性と負担軽減の両立 令和9年度の県大会を見据え、研究の質を向上させつつ、会場校や参加教員に過度な負担がかからない持続可能な運営体制の構築。

# 令和7年度 技術・家庭科教育研究会活動報告

## 1 本年度の活動について(内容など)

【自主研修の日（令和7年7月30日（水））】

技術科4名、家庭科4名の計8名で広陵中学校でそれぞれ研修を行った。

技術：NagaTacの長田さんを講師に、「植物工場モデルのプログラミング」

家庭：コバヤシ造形堂の小林さんを講師に、「古い着物を利用した小物づくり」

## 2 来年度に向けて(本年度の成果と課題)

### (1) 成果

- ・技術科教員が悩む一つでもある統合的な問題解決の学習についての教材や、授業の提案をいただき、参加者の授業づくりの幅を広げることができた。

### (2) 課題

- ・今回の研修で学んだ事をどう授業に展開していくか今後検討していく。
- ・参加者を増やしていき、より有意義な時間にできるようにしていく。

## 3 参加者感想

- ・AIの登場など、日常の中で使用されている技術はものすごい早さで進化している中で、常に新しいものに触れ続け、挑戦し続けながら、教材研究をしていきたいと強く感じる研修となりました。

- ・実際に母や自分が使っていたものを利用し、製作を行ったが、愛着のもてるものになった。着物を使用することは難しいかもしれないが、生徒自身が着用していた服を利用した授業も考えてみたいと思った。

写真を撮り損ねてしまいました。申し訳ありませんでした。

# 令和7年度 英語教育研究会活動報告

- 日時 令和7年7月30日(火) 13:30~16:30
- 参加者 39名
- 場所 総合文化センター 302号室



## (1) 研修内容

- ① 講演 「小中連携のあり方~具体的な連携について考える~」(演習を含め75分)

演習①「小学校での実践から中学校の授業を考える」

演習②「小中一貫したカリキュラムづくり」

講師 木曾町立福島小学校 教頭 橋爪 祐一 先生

- ・「小中連携のあり方」について、講師の橋爪先生から福島小の実践を動画でご紹介頂いたり、小中の先生方が意見交換をしたりして、「子どもの具体の姿」で考えることの大切さを学ぶことができた。

- ② 中学校区合同教科会(60分)(発表、橋爪先生のご指導を含む)

- ・中学校区を主としたグループで、「各校の取り組み、課題、小または中に聞いてみたいこと」と「今後小中で一緒に取り組めそうなこと」について話し合った。十分な時間を取ることで、2学期以降の取り組みに向けて具体的な計画を立てることができた。

## (2) 参加者の感想から

- ・小中お互いの学習内容を知ることが大切だと感じました。
- ・小学校での具体的な授業での実践を見せていただき、このような活動をしてきた生徒たちが中学校ではどのような活動ができるのか考えることができました。
- ・児童生徒の学習の蓄積をデータ化するなどして引継ぎ、利用していかれたらと思いました。
- ・ワークショップで他の先生の発想に学ぶ点が多く、思考の方向性についてヒントをもらうことができました。
- ・一人で考えると一つしか思いつかないことも、他の先生方と共有した時に新たな発見があり考えが広がるなと思いました。
- ・2学期にお互いの授業を見合うことや交流活動などを推進していきたいと思いました。

## (3) まとめ

- ・今年度も、昨年度に引き続き東筑摩塩尻英語教育研究会と共催で研修を行った。推進委員にとっても会員の先生方から学ぶことが多く、充実した研修となった。
- ・昨年度まで英語の指導主事をされていた橋爪先生を講師にお招きすることができ、演習を交えながら具体的な指導について研修をすることができた。
- ・合同教科会では具体的な情報共有ができ、相互理解が深まったことで2学期以降の具体的な展望が持て、小中連携への意欲が高まった様子が見られた。



# 令和7年度 道徳教育研究会活動報告書

## 1 本年度の活動

### (1) 総会(発足会)

- ①期日 5月30日(金) … 書面にて
- ②内容 年間計画・研修内容・予算・規約について



### (2) 自主研修の日

- ①日時 7月30日(水) 13:30～15:30
- ②内容

講義

講師:緑ヶ丘小学校 松谷かおる 先生  
演題:「道徳科の授業づくり」

演習・懇談

道徳の授業に取り組んだ際に、良さや難しさを感じた道徳の資料を持ち寄り、意見交換



### (3) 長野県道徳教育学会「諏訪研究大会」

- ①日時 10月 8日(水) 9:00～16:30
- ②参加者 会長 事務局 会員一名
- ③内容 研究授業、授業研究会、総会、分科会、講演会

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- 自主研修の日:講義の内容が分かりやすく勉強になったと参加者の皆様から感想をいただきました。
- 諏訪研究大会:分科会では、昨年度の塩筑研究大会のレポートを聖南中の中村先生に発表していただきました。  
「全校道徳」について発表していただき、他地区の小規模校の先生方も興味深そうに聞いている姿が印象的でした。道徳の授業は、同じメンバーだとマンネリ化しやすいことから、たてわりにしたり、授業者をローテーションしたり…と先生方が様々な工夫をし、子どもたちが「多面的に・多角的に考え合えるように…」していることが分かりました。

### (2) 課題

- 総会:改正の是非に関わらず、年度はじめの規約の確認を大切にしたいと考えます。
- 自主研修の日:会員以外の先生方にも声をかけたところ、2名の先生の参加がありましたが、それでも8名と少ない参加人数でした。

# 令和7年度 特活(学級づくり)研究会活動報告

## 1 本年度の活動

### <夏の自主研修>

日 時・・・7月30日(水) 13:30～16:30

会 場・・・桔梗小学校

参加者・・・会員13名 非会員5名 計18名

「子どもたちのなめらかな人間関係づくりについて考える  
～SGE・SSTを活用して～」

講 師:上級教育カウンセラー 大和田 康子先生



### <研修内容>

学級づくりには、学級内の約束である「ルール」とみんなと安心して楽しく話せる「リレーション」が大切であると教えていただき、構成的グループエンカウンター(SGE)の様々なエクササイズ(じゃんけんゲーム・木とりす・アドジャンなど)を教えていただき、学級づくりのツボを教えていただいた。ペアやグループになって体を動かしながら自分たちで体験的に楽しく学ぶことで、一緒に活動する心地よさを感じることができた。

## 2 来年度に向けて(本年度の成果と課題)

### (1) 成果

- ・ 講師の先生の魅力ある講演のおかげで、参加者からは「楽しかった。」「3時間があっという間だった。」「他の先生方にも知ってもらいたい。」という声がたくさんあり好評であった。来年度も学級経営に活かせるような会員のニーズに合った研修会を設定したい。

### (2) 課題

- ・ 講師の先生のお話の内容が、とても良いものなので大勢の方に聞いていただきたい。会員が事務局の学校以外に広がらず、いかに会員の確保をするのかが課題である。
- ・ 駐車場が広いからという事でずっと事務局を桔梗小で受け持ってきたようであるが、引継ぎの確保等教育会でも考えていただけるとありがたい。

## 令和7年度 文化財研究会 活動報告

令和8年1月13日

### 1 本年度の活動

#### (1) 東筑摩塩尻教育会 自主研修の日

7月30日(水)

「重要文化財馬場家住宅を訪ねる」

#### (2) 松本市教育会及び文化財同好会OBとの活動

6月29日(日)

「弾誓上人ゆかりの寺を訪ねる」

8月6日(水)

「松本市立博物館特別展「～十王のいるところ～」見学」

### 2 来年度に向けて

#### (1) 成果

- ・研修では、講師の先生方に資料の提供をいただくとともに見学地の歴史等について説明をしていただいた。身近な文化財について理解、関心を深めるよい機会になった。
- ・今年度も「松本市教育会及び文化財研究会OBとの活動」をおこなった。他地区会員との親睦を深めたり、他地区の文化財について研鑽を深めたりするよい機会になった。

#### (2) 課題

- ・会員数が7名と少ない。多くの先生方が入会し、会員が増えるよう呼び掛けをしていきたい。
- ・研修の場所、内容等を工夫し、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。

# 令和7年度 学校園研究会 活動報告

(事務局：桔梗小 田中)

## 1 自主研修の日

### 実施内容

矢沢加工所（塩尻市下西条地区）の見学・社長様からの講話

(※矢沢加工所さんは、周辺の豊かな自然のもとで育った果物や野菜などの地域産品を加工・販売しています。当日は、代表の眞田さんから矢沢加工所さんの沿革や地域で収穫されるもの、加工される食品についてお聞きし、ジャムや味噌の加工場の一部を見学させていただきました。)



### 参加者の声

参加者からは、「自然豊かな塩筑で暮らしていることを実感できた」「子どもたちにも見学や体験させた内容だった」という感想をたくさんいただきました。地域の自然を知り、さらにそれを用いて作品を作る機会は、なかなかなく、大変有意義な研修となりました。

## 2 来年度に向けて

- ・例年、JA、学校給食コーディネーターさん、林業総合センター、矢沢加工所など外部機関にご協力をいただけて、大変ありがたく、次年度以降も継続したい。
- ・年々参加者が増えて大変ありがたいが、駐車場確保や連絡が困難になってきている。夏の猛暑も課題。
- ・提出書類（実績報告・HP等）の簡素化をお願いしたい。  
充実した研修を継続して行っていくためにも、事務局の負担軽減や引き継ぎの確保をどのようにしていったらいいかが課題である。

## 令和7年度 保健教育研究会 活動報告

### 1. 本年度の活動

#### (1) 情報交換（保健教育委員会全体会終了後）

日 時 6月27日（金） 16:00～16:45

場 所 塩筑教育会館 講堂

内 容 発足会及び日常執務の情報交換

（保健指導の内容について・定期健康診断について・保健室登校生への対応等）

#### (2) 第1回研修会（自主研修の日）

日 時 7月30日（水） ① 10:00～11:45

② 13:30～15:30

場 所 ①・②いずれも山形村立山形小学校 調理室

内 容 ① 講義・実技

「応急手当について」

講師：おんたけウエルネスラボ代表理事 田上 仁 様

② 講義・演習

「日本理化学工業ってどんな会社？～キットパスを体験しよう！～」

講師：キットパスアート本部認定講師（NANA. COLOR）中村 奈美 様



\* 情報交換会及び第1回研修会午前中の部については、  
養護教諭育成支援リーダー受講者主催の研修会

#### (3) 第2回研修会（保健教育委員会・保健主事部会との合同研修会）

日 時 11月10日（月） 15:15～16:45

場 所 塩筑教育会館 講堂

内 容 「成長期の子どものスポーツと健康課題」

講 師 信州大学医学部附属病院 小児科 師田 悠 先生



### 2. 来年度に向けて

#### (1) 成 果

- ・ここ数年、発足会時に日常執務の意見交換の時間を設けることを大切にしている。特に養護助教諭や経験年数の浅い先生方から、日頃感じていること・困っていることなど、ざっくばらんに話をしてもらうことができ、先輩の先生方からアドバイスをいただけるよい機会となっている。また今年度の研修内容についても、経験年数の浅い先生方に合わせた研修を行うことができた。

#### (2) 課 題

- ・養護教諭は各校1人がスタンダードな専門職でありながら、地域が広範囲で行政区も違うとなるとなかなか顔を合わせて話しをすることや研修を行うことが難しいと感じている。そのため郡内の養護教諭が集まれる機会を大切にし、研修を行うことはもちろんのこと、誰もが話しやすく参加しやすい充実した保健教育研究会となるように今後も企画・運営をしていきたい。

# 令和7年度 情報教育研究会 活動報告

令和8年1月13日

## 1 本年度の活動について

本年度は「自主研修の日」に研修会を開催した。塩尻市教育センターを会場に、グーグルクラウドを活用した授業作りや校務に役立つ講座を計画、実施した。

○ 「自主研修の日」研修会 7月30日（水）

研修テーマ 「校務におけるICT機器活用」

講師 塩尻市GIGA運営支援センター 長澤貴子先生 参加者 11名

今年度は、グーグルアプリの校務活用につながる効果的な使用方法の研修を行った。具体的には、グーグルカレンダーやグーグルマップ、グーグルサイトを活用した校務活用について学んだりした。

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・ 本年度研究会に入っていたいただいた先生方は11名だった。自主研修の日の研修会には研究会以外の先生方にもご参加いただき大変ありがたかった。研修会では、実際に授業で役立つ研修内容にご賛同いただいているので、今後も授業や校務などに活用できる内容を中心に研修内容を決めだしていきたい。
- ・ 会員を増やすために年度当初の募集に努めたい。そのために、継続的にご参加いただいている先生方や、発足の会にご出席いただいた先生方のご意見ご希望を生かし、研修会の内容を検討していくが、ICT活用やクラウド活用については、今後も継続的に研修内容として位置付けていきたい。

### (2) 課題

限られた時間での研修に、どのような内容を盛り込んでいけばより多くの先生方にご参加をいただけるのか、事務局でさらに検討していきたい。また、自主研修の日だけでなく、研修会などの活動を行う事により先生方の情報教育におけるスキルアップに協力していきたい。

(情報教育研究会事務局 麻績村立麻績小学校 小松 誠)

# 令和7年度 総合的な学習の時間・生活研究会活動報告

令和7年12月12日

## 1 本年度の活動について

(1) 7月30日(水) 自主研修会「消しゴムはんこを作ろう(初級・中級編)」

44名参加 (会員 22名 非会員 22名)

- 昨年度と同様、山下 奈巳先生に 講師をお願いして実施しました。
- 消しゴムはんこの作り方を、動画や、講師の先生が実際に作成するのを見せてもらい学びました。そのあと自分たちも練習して作品を仕上げました。
- 体験中は、黙々と活動に没頭先生方でした。「味があっていい。」「早く子どもたちのノートに押してみたい」「来年もこの研修をやりたい。」などたくさんの感想がありました。



## 2 来年度に向けて(本年度の成果と課題)

- 講師の先生の魅力ある内容のおかげで、参加者からは「意義のある楽しい研修だった」「予想を超えた素晴らしい研修だった。」という声がたくさんであった。来年度も会員のニーズに合った研修会を設定していきたい。
- 事務局の負担と、引き継ぐ人がいない現実がある。

## 1 本年度の活動について

### ○ 発足

日時 令和7年5月29日(木) 会員へメール配信  
規約、年間活動計画、会員名簿の配信をもって総会とする。  
異議申し立てなく、5月30日(金)研究会発足  
文書にて、会長・事務局長・副事務局長の承認 会員数 29名

### ○ 自主研修

日時 令和7年7月30日(水) 13:30~16:00 自主研修の日  
場所 塩尻市立塩尻中学校 視聴覚室  
(1) 研修内容 『やる気アップ ~ほめる技術~』  
講師 横嶋 敬行先生(信州大学 総合人間科学系 助教)  
出席者 会員 15名 会員以外 12名 (計 27名)



横嶋先生から、ポジティブ行動支援について教えていただきました。  
参加された先生方からは、「声のかけ方や目標設定の工夫について、より具体的に研究結果と実践を交えたお話が聴けた。」「自己決定の大切さや子どもとの関わり方を見直すきっかけとなった。」等の感想が多数寄せられました。

### ○ 専門書の配付

- 9月 講演会講師の横嶋先生ご推薦の書籍を購入  
10月 配本『ポジティブな行動が増え、問題行動が激減！PBIS 実践マニュアル&実践集』  
栗原慎二 編著

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・自主研修では、講師の横嶋先生から特性のある児童生徒に対して、具体的な支援方法をたくさん教えていただき、さっそく担当している児童生徒に役立てることができた。専門書は、それぞれの学校で校内の先生方にも紹介し、参考にさせていただいた。

### (2) 課題

- ・通常級の先生方にも多く学んでいただけるよう、研修を企画していきたい。